

中西けんじ

自民党公認

強い経済で、 優しい社会を。

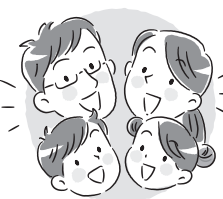
新しいことに挑戦しようという気持ちがあるが、萎えてしまうデフレから完全に脱却し、失われた30年にけりをつけるために重要なのは今です。ここで間違った経済政策をとってしまったのでは、あの気が滅入ってしまうような憂鬱な時代に逆戻りしてしまいます。

私は日本の経済がかつてのような輝きを取り戻すために、国際金融市場での20年以上の経験を活かそうと思ひ、政治の世界に入りました。ただ、経済を強くすることは大切なのですが、最終的な目的ではありません。十分な税収を上げること、医療や介護、子育てなどで、しっかりと支えていくための手



段だと考えています。ところで、「NISAって何？」という方は、もつほどんどいらつしやらないですよ。財務金融部会長として先頭に立って取組み、よくNISAの大幅な拡充を実現しました。配当は生活費にあてることが出来ますし、応援している企業の株価が上がれば暮らしを安定させるための資産が増えることにもなります。

強い経済に裏打ちされた、子どもにも高齢の方にも優しい国。日本を作りあげていきたいと思っています。



国民の生命を守つていくことが、 国家の使命——三つの「りよう」を守る——

不安定な国際情勢の中で私たちが安心して暮らしていくためには、**燃料、食糧、医療**という三つの「りよう」を守つていかなければなりません。

燃料を海外に頼らないようにするには、再生可能エネルギーの普及をさらに推し進めるとともに、安全基準を満たした原発を稼働させる必要があります。私達が生きていく為に必要な食材をきちんと国内でまかなうには、食肉の生産に必要な大豆やトウモロコシなどの家畜のエサも輸入に頼つてはいけません。コロナ禍では、ワクチンや薬の国内生産や医療の高度化の必要性を思い知らされました。医療分野に対して、国が絶えず支援を行なつていきます。

改正こそが憲法を守るということ

我が国は、中国、北朝鮮、ロシアという核兵器を保有し、長距離ミサイルの発射を繰り返したり、隣国に攻め込んだりしている独裁者の国に隣り合せています。今日のウクライナは、明日の東アジアになりかねません。

「つうした中でも、まず優先すべきなのは外交努力です。しかし今の状況を冷静に考えると、皆さんの命や暮らしを守り抜くためには抑止力を高めていく、つまり相手に対して「日本を攻めたら三倍返しにあつてしまふ」と思わせることが必要です。

私は憲法を守ります。ただ、憲法を守るとは、憲法に指一本触れさせないということではなく、「憲法にはそう書いてあるけど、現実には違ふよね」などと、国民の皆さんが疑問を感じるものがない最高法規としての地位を守つていくことだと考えています。憲法に自衛隊を明記し、有事にそなえて緊急事態条項をおく憲法改正を速やかに実現していきたいと思っています。

地域の絆を大切に

私もそうだったのですが、コロナが猛威をふるつていた間は、どうしてもお互いの関わり合いが疎遠となりがちでした。コロナ禍が収束し、町内会のお祭りや神社の祭礼、学校の運動会などが再開されました。鶴見、神奈川の多くのイベントに参加させていただき、皆さんとの交流を深めています。

何代にもわたつて地元根付いていらつしやる方。新たに転居してこられた方。皆さんのところにお伺いすると、道路や学校、社会福祉施設など生活の身近な課題について色々なご意見、ご要望を直接お聞きすることが出来ます。

そつした課題に真正面から向き合い、地域の絆を再び強くし、より住みやすい街づくりをするために、地元の市議、県議の皆さんと力を合わせて、横浜市、神奈川県、そして国のために全力を傾けてまいります。

- 昭和39年生まれ
- 東京大学法学部 卒業
- JPモルガン証券会社 取締役副社長
- 平成22年、28年 参議院議員選挙 神奈川選挙区・当選(2期)
- 令和3年 衆議院議員当選(1期)
- 自民党/行政改革推進本部 副本部長 副幹事長・法務部会長・財務金融部会長

- 参議院/財政金融委員長
- 衆議院/財務金融委員会理事 決算行政監視委員会 筆頭理事 憲法審査会 委員
- 財務副大臣
- 〈楽しみ〉焼き鳥(塩と炭に拘る) 孫と遊ぶこと

- 〈趣味〉ランニング・水泳 トライアスロン(大会出場) 書道(産経国際書展 入選)
- 〈好きな言葉〉いつだって挑戦者
- 〈長所〉何事にも一生懸命
- 〈短所〉ときにやり過ぎる
- 〈家族〉妻・長女・次女・孫3人



WebSite



X(twitter)



facebook



LINE



Youtube

詳しい情報を発信しております。